



2016
7.3
(SUN)

2017新卒向け

FUKUSHI

就職フェア

@ ベルサール泉ガーデンギャラリー

REPORT

————— 成果 —————

来場学生数 **141** 名 (うち、就職年次 **77** 名)

出展法人数 **33** 法人

ブース平均訪問学生数 **16.4** 名

学生の平均ブース訪問数 **4.5** ブース



「未来をつくる」仕事を、福祉で。

全国から33の福祉法人と、大学生約150名が参加。
会場も、参加人数も、プログラムも
昨年よりスケールアップ!

2016
7.3
(SUN)

トピックス

- 1 福祉×過疎地域、福祉×農業、福祉×芸術…、多種多様な「福祉×〇〇」。福祉の可能性の大きさをアピール!
- 2 海士町や震災のあった熊本からゲストが来場し、スペシャルトークショーを実施。



プログラム

オープニングメッセージ・
出展法人リレープレゼン



共同代表の2人から学生へのメッセージ。「どう社会課題を解決するのかというところを考えてもらい、一緒に取り組んでいてもらいたい」など、フェアに込められた想いを学生に伝えました。また、各出展法人の特徴を30秒ずつで紹介するリレープレゼンを行い、現場の思いを届けました。

ブース型会社説明会



北海道から九州まで、日本全国で革新的な事業に取り組んでいる33法人が集結。スーツ禁止の会場で暖かい雰囲気の中、普段なら聞けない、いろんなことをじっくり聞くことができました。学生は「わくわく」しながら様々なブースを回っていました。

福祉のキャリアトーク



福祉法人で働く先輩職員や人事担当者が登場。仕事とプライベートのバランス、利用者さんとの良い思い出など、仕事や現場での本音がいっぱい。さらには、面接のポイントなど、福祉で働くOB・OGにリアルな話を聞くことができました。

特別プログラム

「地域で働き、地域で暮らす。新しい福祉の働き方」

鳥根県の海士町で移住促進の取り組みをしているゲストをお招きし、「地域で働く」魅力を存分に語っていただきました。「『人生そのものが仕事であり遊びである』という感覚が、島での生活にあるのでは」という議論もされました。「地域で働く」ことで、地域ならではの仕事に取り組み、新しいスタイルの働き方ができそうです。

片桐 一彦
(社会福祉法人海士町社会福祉協議会事務局長)

岡 勇樹
(NPO法人Ubdobe代表理事)



FUKUSHI MAKERS SUMMIT vol.005

～熊本地震のためにできること。福祉を変えるアイデアソン～

熊本から出展いただいている2法人から、現在の熊本の現状についてお話いただきました。そして、「熊本地震のためにできること」について学生同士が熱い議論を交わしました。「被災の現状やボランティア受け入れについて発信し、支援の窓口となる熊本情報発信ステーションを立ち上げる」「日常の困りごとを支援する熊本お助け隊をつくる」など様々なアイデアが生まれました。

社会福祉法人八代愛育会
(熊本県八代市)

社会福祉法人清流会
(熊本県氷川町)



参加学生の声

とても雰囲気明るく、気軽に参加できたフェアでした。福祉のオモシロさが伝わり、イメージが変わりました!



福祉業界で働く意欲アップ!

福祉の分野での幅の広さを改めて実感することができ、ここで働きたい!と思うところがたくさんありました。福祉業界を変えたいという熱い思いに感動しました。福祉業界のイメージが柔らかく楽しいものとなり、働く意欲がさらに増えました。

もっと多様な法人を見てみたい!

児童分野や地域医療など、幅広い領域の法人にも出会ってみたいくなりました。地方の仕事をもっと知りたいので、地方の施設と出会える機会があると嬉しいです。

明るい雰囲気できれいに参加!

説明会の重いイメージがありませんでした。すごく良くて気軽に参加できました。トークセッションなど、対話をするような感じで、気になっていることは聞きやすかったです。



他法人の取り組みが参考に!

とても刺激的で様々な法人の強みや新たな取り組みを知ることができて良かったです。他法人の話方や人材戦略の話が参考にになり、若手職員の勉強の場にもなったと感じました。

出展法人の声

全国で革新的な事業に取り組んでいる33法人が集結。意識の高い学生が多く来場し、貴重な出会いの場になりました。また、法人同士の情報交換の場としても役立ちました!

意識の高い学生が来てくれた!

質の高い学生が集まっていました。社会福祉を志す、目的意識の高い学生に会うことができたと思います。小人数でもじっくり話せたのは良かったです。4年生が施設見学の予約をその場でしてくれて次に繋がりました。

福祉を盛り上げていきたい!

思いを共感出来る仲間がたくさんいることが嬉しかったです。福祉全体を盛り上げていきたいという考え方に感銘を受けました。すべてが自分たちの意識改革へつながり、改めて福祉の良さを感じることでできるフェアでした。

! more report

2016.3.21 (MON)
FUKUSHI就職フェア

3月に開催したFUKUSHI就職フェア。その中のFUKUSHI MARKETでは福祉の求人検索コーナーや、福祉作業所によるカフェなど、多彩な使い方ができるスペースを設けました。就活を始めたばかりの学生の皆さんの疑問に答え、不安な気持ちを払拭しました。

成果

2016年7月31日現在

- ▶ 来場学生者数 274名 ▶ 出展法人数 16法人
- ▶ ブース平均訪問学生数 55.4名
- ▶ フェアの学生満足度 85.7点

来場した学生から、岩手や新潟への就職含め

32名の内定者が!

FACE to FUKUSHI からのメッセージ

これからの10年を見据え、
社会に求められる福祉人材を輩出していく
そのために、多様なプログラムを提供し続ける

FACE to FUKUSHIでは、これからの10年を見据え、「ジェネラリスト」と「マネジメント人材」の育成・輩出に力を入れていきます。

1. ジェネラリストの育成・輩出

これからの地域福祉に求められるのは、「ジェネラリスト」であると考えています。

特定の分野に特化した専門家だけではなく、総合性を兼ね備えた、多様なニーズに対応できる福祉人材を育成・輩出していくプログラムを提供します。

2. マネジメント人材の育成・輩出

福祉が発展していくためには、福祉法人の組織力が強くなっていくことが求められます。

現在の福祉法人では組織を運営する、マネジメント人材が不足しています。そのため、次世代の経営を担うマネジメント人材を育成・輩出するためのプログラムを提供します。

未来の福祉を創る人材を育成・輩出し、日本のFUKUSHIが世界最高のWelfareになることを目指していきます。



福祉の発展を目指して！
今後ともどうぞ
よろしくお願ひ致します。

次回のFUKUSHI就職フェアは・・・？

2017年

3月は2会場で開催予定

2017
3.20
(MON)

大阪会場

グランフロント大阪
(大阪市北区大深町3-1)

2017
3.27
(MON)

東京会場

ヒューリックカンファレンス
(東京都台東区浅草橋1-22-16)

アナタとワタシのフクシのアシタ  FACE to FUKUSHI

日本の"FUKUSHI"を、世界最高の"welfare"に。
誰もが当たり前で生きることができる社会をつくる。

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-3-1-6F-103

TEL 06-4799-0108

MAIL info@f2f.or.jp

WEB

<http://f2f.or.jp>

<https://fukushigoto.f2f.or.jp>

Supported by  THE NIPPON FOUNDATION

メルマガ読者募集中!

社会人向け <http://f2f.or.jp/member/>

学生向け <https://fukushigoto.f2f.or.jp/entry>

